

http://www

VBTJ ベトナム語の聖書を日本へ
(Vietnamese Bible To Japan)

ニュースレター

2023年4月発行
第10号

VBTJ(Vietnamese Bible To Japan) <http://vbtj.org/> toyoshi@io.ocn.ne.jp (長谷川)
<事務局> 〒359-1105 埼玉県所沢市青葉台 1337-1-508 長谷川方 04-2939-8470 (TEL&FAX、長谷川)

「在日外国人全員で 日本に福音を伝えたい主」

アガペー教会
トラン・ニー牧師

目次

1 「在日外国人全員で

日本に福音を伝えたい主」

(アガペー教会トラン・ニー牧師)

『わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、
あなたがたの道は、わたしの道と異なるからだ。』

——主のことば——

天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道
よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。』
イザヤ書 55章8～9節

2 「あなたは一人じゃない！」

(豊橋ブラジルホーリネス教会

黒木アドリアノ牧師)

私は人生の中で何度もこの聖句を聞いてきましたが、米国
C&MAから宣教師として派遣されて日本に来るまで、この詩
の意味は十分には理解できていませんでした。日本は世界
で最も未伝道の方々の国であると聞き、2016年に私は日本
人に“良い知らせ”を伝えたいと思ってやって来ました。私が日本に来たのと同
じ頃に多くのベトナム人が日本にやってきましたが事前には知りませんでした。
2022年末現在、在日ベトナム人の数は、489,312人にも達しているそうです。



2-3 「通訳者として：母国ベトナムの教会から学んだこと」

(在日大韓基督教会平野教会
信徒 レ・ホアン・バオ)

現在東京教会には 30 人、名古屋教会には 15 人が所属しています。毎年奥多摩で行われるキャンプには多くの未信者が集まり、これまで 3 人がこのキャンプを通してキリストを受け入れましたし、また去年は名古屋で 3 名がバプテスマを受けました。今年もイースターに東京で 2 名がバプテスマを受ける予定です。この世の富を追い求める若いベトナム人を見ると悲しくなりますが、一方、ベトナム人クリスチャンが、心から人生を捧げている姿を見ると、私も励まされます。



Tokyo Christmas 2021

3 VBTJ 第 3 回 総会のご案内

(by Zoom)

(VBTJ 運営委員会
委員長 長谷川 与志充)

4 ベトナムひとくちメモ:

フランクリン・グラハム
宣教集会

(VBTJ 代表 大塩英人)

入会と支援献金のお願い
会計報告

私たちにできる事は
主のご計画に
応答する事です

統計的には日本には少なくとも 8,000 人ほどのベトナム人プロテスタントクリスチャンがいるはずですが、1 人の牧師が 40 人のクリスチャンを牧会するのであれば 200 人の牧師が必要です。しかし私の知る限り現在日本で活動しているベトナム人牧師は私だけ。課題は多いのですが、主は不可能を可能にされます。大阪では在日韓国人牧師が 40 人ほどのベトナム人の若者たちの集まりのお世話をしてくださっていますし、OMF ジャパンや C&MA のホームページでは在日ベトナム人のための働き手を増やすべく求人をしてくださっています。

ベトナム人は仕事や勉強のために日本に来ていますが、主は異なるお考えをお持ちです。それは良いご計画なのです。ベトナム人を含む在日外国人全員を通して、日本に福音を伝えたいと考えておられるのです。私たちにできる事は主のご計画に応答する事です、働き人が足りません。心からお願いします。どうぞ、ご協力ください。

「あなたはひとりじゃない！」

豊橋ブラジルホーリネス教会
黒木アドリアノ 牧師

こんにちは、私はアドリアノといいます。
父は山形県で生まれた日本人で、父は小さい頃に家族でブラジルへ移民しました。父はブラジルでブラジル人の私の母と出会い、それで私はブラジルで生まれ育ちました。小さい時に日本語を耳にしたのは週1回の日曜の夕方だけ。おじいさんが家にきて日本語で話しかけてくれたのですが、自分には興味のない世界でした。13才の時に教会へ行くようになりました。主の愛を多くの人に伝えたいという心を与えられました。だけど、家庭環境がよくなかった。高校を中退し 1992 年に日本へ出稼ぎに来ました。寂しかったです。友達を作るために夜遊びの人と喋り、そうやって、私はだんだん日本語が話せるようになっていきました。



左：仲間の先生、中央：アドリアノ牧師、右：Aさん

罪の中にいた時、心が疲れてブラジルへ帰国しました。でも、イエス様は新しいチャンスを与えてくれました。もう一度学校へ戻りました。高校卒業後、宣教学校に行き、2000 年に今度は宣教師として日本へ来ました。日系ブラジル人の教会を任せられ 2003 年に東京聖書学院という学校に導かれ、そこでさらに日本語と日本文化への理解を深めることができました。

卒業後、豊橋の教会に任命されました。日系ブラジル人に日本語で主の愛を伝えようと思いました。ある時、教会に来ていた日系ブラジル人の中学生が「日本語が分からないので勉強できない。」と言うのです。私がその中学校を訪問したところ、「ここは大丈夫、でも隣の小学校はかなり困ってるみたいだよ。」と言われ次に隣の小学校へ行きました。そうやって、週1回ボランティアをすることになりました。数ヶ月経ったら今度は市役所の方で学校通訳を募集していました。翌年からは市内のいろんな小中学校で働くようになっていました。

10 年近くいろんな形で学校で働きました。私は子供たちの辛い思いが心に残り忘れられないのです。子供たちは勉強ができないだけでなく、「**気持ち**」が**通じない日々を送っている**のです。3 年前、私は教会で学習支援を始めました。最初はひとりでしたが仲間もできました。今は仲間 3 人で、4 人の子供たちを迎えることができます。子供たちの国籍はさまざま、ブラジル、ペルー、ベトナムそして日本人の子供たちです。数学や英語なども教えていますが本当に教えたいことはそんなことじゃない。伝えたいのは「**あなたはひとりじゃない！**」ということです。だから、私たちは今、ベトナム人の A さんをサポートしています。

「通訳者として：母国ベトナムの教会から学んだこと」

在日大韓基督教会平野教会 信徒
レ・ホアン・バオ

私は大阪に住んでいる22歳のベトナム人クリスチャンです。留学で日本に来て4年が過ぎました。私の教会、在日大韓基督教会平野教会の金牧師が2023年1月にベトナム首都ハノイにあるハンソン教会創立15周年記念礼拝に招かれて、私も通訳者として共に行く機会が与えられました。ハノイの他にもホーチミン市のいくつかの教会を訪問してきました。最初は日本語ベトナム語間の通訳や街の案内だけを手伝うつもりで軽い気持ちだったのですが、今回のベトナム教会訪問を通して母国の福音の状況をより深く知ることができました。



ベトナムの教会で牧師や信徒たちから伝道に際しての過去の迫害や苦難の話を数多く聞きました。涙や血を多く流したことで今の宣教の道が開かれたのです。私は生まれながらのクリスチャンで、クリスチャンホームで育てられ平安な幼年時代を送ってきたことから、迫害や教団の分裂の話は聞いていたのですが、信徒の信仰生活を守ることも簡単ではなかったという詳細は実感できておらず、全然理解できていなかったことを知りました。

その1月の旅で出会った方々は、み言葉を優先し、最後の報いを信じる人たちでした。人を愛し、貧しい人を助け、麻薬中毒の人たちを受け入れ、治療し、普通の生活に戻れるよう、差別のない宣教活動をしていました。「このような具体的な宣教活動をするのは大変ではありませんか？」と聞いてみましたが、「苦難の中に報いがある」、また、「安定した道は逆に危険なのだよ。」と、彼ら彼女らは語っていました。

現地ではベトナムで生活している韓国人宣教師や日本人宣教師たちの働きも目にしました。彼らは言語や政治の問題などを越えてベトナム人のために祈り、宣教し、愛しています。私たちの天の父はどの国の人にも同じ父なる神です。この旅を通して見てきたすべてのことは、主のご計画の一部であることを信じます。

私たちが在日ベトナム人の青年たちが在日韓国人の教会で、一緒に礼拝することも主のご計画の一部であると信じます。そしてベトナム・韓国・日本のそれぞれの国でリバイバルが起きることも、私は強く信じています。私も、今回出会った人たちのように、主とともに歩んでいきたいと思っています。



左：金牧師 中央：バオ兄（通訳奮闘中）
右：南部福音教会宣教部長と奥様



トイ・タム・トン福音教会にて



多数の面談をセットしてくれたカン宣教師（左端）
大塩兄（左4番目）とインマヌエル教会にて

VBTJ 第3回総会のご案内

VBTJ 運営委員会
委員長 長谷川与志充

早いものでまた1年が過ぎて総会の季節がやってきました。今年は6月3日（土）日本時間午前10時から正午ごろまでZoomで行う予定です。正会員による議決のための集まりですが、どのような活動をしているのかを、可能な限り多くの方々に知っていただきたく思っています。オブザーバーとしてのご参加は可能です。Email アドレス vbti2021@gmail.com またはホームページ <https://www.vbtj.org/> 経由でご連絡ください。

今回ニュースレターは日本国内で活躍している様々な外国人信仰者に寄稿いただきました。トラン・ニー牧師（宣教師）の“主に召されたリーダー”としての苦悩、アドリアノ牧師の尊い草の根の活動、若いバオ兄の目が開かれていくプロセス、そしてその背後にベトナムの教会に“お願い”に飛び込んでいく金牧師の勇敢な姿があります。私たちは、日本の教会にベトナム語聖書や三浦綾子さんの本を配布するのみならず、埋もれた尊い活動を見つけ出し、直接的に関わっていきたくと願っています。しかし働き人が足りていませんし、率直に言って運営資金も足りていません。

リバイバルという“多くの悔い改め”が生まれますように、主の偉大なご計画に、多くの方々と応答していきたくと思っています。ともに考え、そしてお祈りください。

ベトナムひとくちメモ： フランクリン・グラハム宣教集会

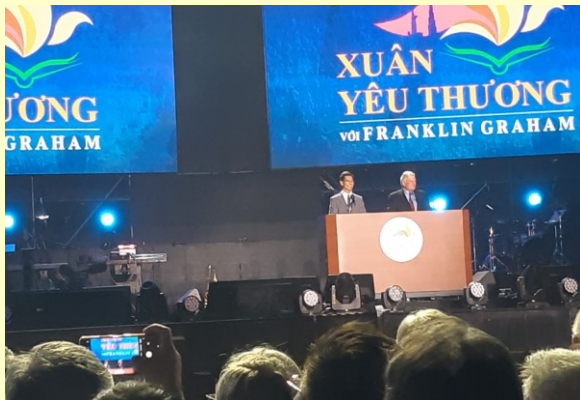
VBTJ 代表 大塩英人

ベトナムは共産主義国でとても激しい弾圧が今も続いているという“イメージ”があります。しかし現在は手続きが正しい場合、活動ができるようになってきています。2017年12月にハノイでフランクリン・グラハム宣教集会があり大成功しました。彼らは1年前から宣教師を送り込み、全プロテスタント教会を巻き込み準備して“本当にできるんだ”という事を、身をもって示してくれました。

2023年3月4日(土)と5日(日)の2日間、今度はホーチミン市で開かれました。今回は私も参加できましたが、おびただしい数の人々(多分1集会3万人)で、近隣の村々からも大型バスを連ねてやってきました。招きに応じた信仰決心者は著名なゴスペルシンガーのマイケル・W・スミスの演奏中でも途切れる事がなく、少なく見積って2千人、多分3千人、それが2夜行われました。

私は、その大きさを伝えたいのではありません。私の斜め前に座っていたのは聾啞者20人ぐらいのグループで、そこで手話でお世話している若者たちを見ました。当然彼らはクリスチャンでしょう。また、後日聞いた話として、私の教会の牧師の隣に座った未信者が話しかけてきてくれた事で、集会後に関係を持つ事ができたなど、主は生きておられるのを体験しました。

準備は大変だったと思います。何億円ものお金が費やされたでしょう。でも、多くの信仰の火種がそうして生まれ、今日も皆様と同じ電車に乗っていたり、皆様の教会の前を自転車で通りすぎたりしているのです。



入会と支援献金のお願い

VBTJは正会員となって下さる個人・教会・団体を募集しています。年会費1口5000円です。
VBTJはベトナム語聖書とベトナム語訳三浦綾子書籍の配布の他、以下の活動を行っています。

- 1) ベトナム語キリスト教書籍の作製
- 2) 日本の教会の在日ベトナム人宣教の支援
- 3) 在日ベトナム人教会の支援

ニュースレター冒頭に記されている事務局(長谷川)までご連絡の上、以下のVBTJのゆうちょ銀行の口座まで会費または支援献金を、ご送金いただけたら幸いです。

ゆうちょ銀行 口座名 VBTJ
記号 10300 番号 94675701
他銀行からの場合 店名 ○三八(ゼロサンハチ)
店番 038 普通 9467570

会計報告(2022年4月～2023年3月)

(収入)	年会費(個人 20 団体 8)	245,000 円
	支援献金	482,720 円
	2022 年度繰越金	703,437 円
	利子	7 円
	計	1,431,164 円
(支出)	ニュースレター製作費	255,034 円
	ベトナム語聖書・書籍送料	344,245 円
	ホームページ修正費	75,000 円
	日本の教会の周縁活動の支援	103,740 円
	在日ベトナム人教会支援	20,000 円
	神学校学費積立基金へ	200,000 円
	雑費	440 円
	2023 年度へ繰越金	432,705 円
	計	1,431,164 円